

連載 問わず語り／⑤

# 怪我をするな

司馬 遼太郎  
え・中 西 勝



新聞をみていると、神戸の三宮のトルコ風呂でころんで大怪我をしたおじさんが、労災保険をもらったという。

この人は港湾関係の会社の係長さんかなにかで、この日の夕刻、ある船の一等運転士を接待するために五千円もらって出た。

「トルコ風呂へ行きまほ」

ささやかな供応である。あとは飲屋でビールでも飲むつもりだったのであろう。善良で律義な古参サラリーマンの姿が眼にうかぶような情景である。

ところが、風呂のなかをハダカで歩いているときにタイルで足を

すべらせてしまい、その勢いでガラスをぶち破り、運わるく破片が胸につきささってしまった。命にかかわる重傷だったという。五千円をもたせて送りだした会社のほうでも驚いたろうし、トルコ風呂をごちそうになっていい気持になっていた一等運転士さんのほうはなお驚いたことだろう。

むろん、家で待っている善良な奥さんは仰天したにちがいない。むかしの武士の妻なら主家のために夫が戦場で死んでも涙をこぼさないのが美德だったそうだが、この夕、彼女の善良な夫の戦場はトルコ風呂であった。事故の本質は武士の場合とおなじとはいえ、やはり情けなさに涙をこぼさざるをえなかったろう。

おなじ日の朝、編集の五十嵐恭子さんが原稿をとりにもえて、「鴨居玲さんが、素人の運転する自動車にのせてもらって安全地帯にのりあげ、腕を骨折したそうです。全治一カ月半だそうです」といった。

どうも、ちかごろ、怪我のはなしをよくきく。われわれの子供ころの大人たちは、あまり怪我をしなかったように思うが、最近の大人はよく怪我をする。やはり、自動車とかトルコ風呂とか、むかしはあまり盛大でなかった機械や設備が都会にひしめいているせいかもしれない。

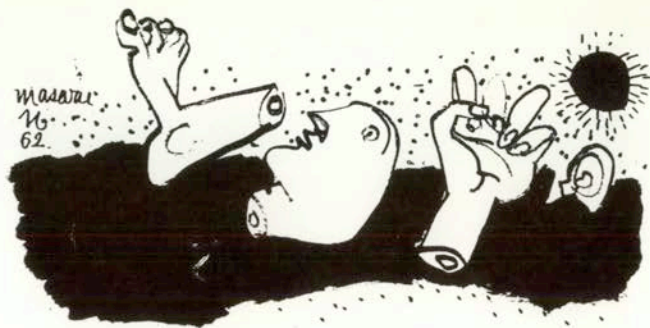
事故というのは、ひよんなことで来る。終戦直後、私がいた新聞社にナニガシという善人がいた。

そのナニガシが大阪の四ツ橋にある電気科学館に取材に行った。付近は荒涼とした空爆のあとで、この建物だけが奇跡的に被災をまぬがれているのである。電気科学館といえはかつては小学生の人気の中心だった施設だが長い戦争のあいだ、ほとんど閉鎖同然になっていた。やっと平和がきたというので、

「電気科学館はどうなっているかしら」

という素朴な関心に応えるのが、ナニガシの取材の眼目だった。ナニガシが訪れると、電気科学館のほうでもひどくよろこんで、なかでも案内係の老主任などは、

「新聞記者が来てくれるなんて、何年ぶりですかなあ。やはり、



平和が来たんですなあ」

と、涙を流さんばかりであったという。

「あんたは、戦争に行っていらいちゃったんですか」

と、老主任は、始めて会ったナニガシに特別な懐しさをみせた。むりはなかった。戦場にいた者も内地にいたものも、たがいによくぞ生き残ったという実感が、毎日、事にふれて味わされた時期だったのである。老人は、

「このあたりは、ひどい空襲でしたよ」

と、こわかったことなどを、つぶさに物語った。やがて立ちあがって、

「こうしているのも何ですから、いちど館内をみていただきますよう」

二人は、エレベーターの前に立った。いうまでもないことだが、当時は日本中が荒廃していて、動いているエレベーターなどはめずらしかったところである。老人は、ナニガシを遇するには、エレベーターがなによりの御馳走だとおもったのであろう。その点、三宮のトルコ風呂で負傷した会社員とおなじ誠意であったといっている。

「先日、やっと故障をなおしたんですよ。いま大阪中でエレベーターが動いてるのは、ここぐらいのものじゃないでしょうか。さあどうぞ、お入りください」

「いえ、あなたからどうぞ」

「それはいけません、お客様からどうぞ」

この二人の善人はたがいによずりあって果てしなさそうにみえたが、ついに老人のほうが折れ、

「それでは失礼ながら、お先きに入らせていただきます」

そのまま、老人ははるかな地下室まで落ちて死んでしまった。エレベーターはその階まで来ておらず、ただトビラだけが開いていたのである。

人生、どこに伏兵が待っているかわからないが、とにかくかごる怪我が多い。

# ⑤ 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④ 0693

大阪・高麗橋二丁目 ②③ 2106



# FUGETSUDO



御中元好適品

## GAUFRES ゴーフル

¥400—¥2,200

神戸カラーのいっぱいあふれた  
送ってこられない

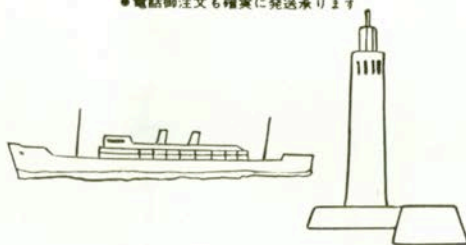
日もちのする東京送り最適品…

## FANCYBOX 和洋銘菓の お取合せ

¥600—¥3,000

色彩と御味のバラエティに富んだ  
新アイデアの贈答品…

●電話注文も確実に発送承ります



創業 明治三十年

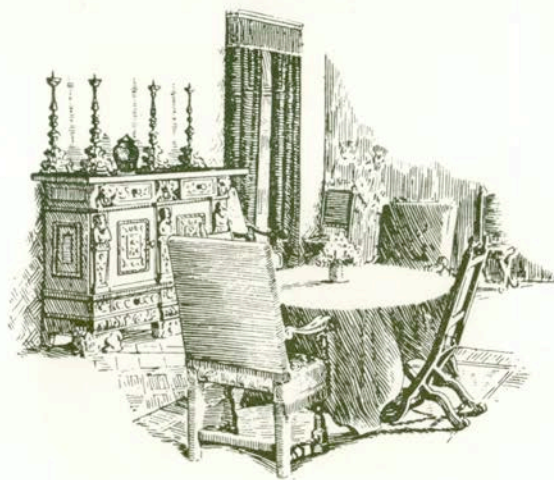


## 月 堂

神戸・元町三 TEL. 神戸 ③ 695・696



家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

大丸前 TEL { ③ 5 5 2 0  
③ 1 2 9 0

呉外陳蔵

みよーや

神戸 大丸前  
電話神戸(3)三三八八〜九番  
大阪店 阪神百貨店三階  
電話大阪(06)五五四八番  
姫路店 やまとやしき百貨店三階  
電話姫(23)一二二一番

# 神戸に心の結束を

直木 太一郎／神港倉庫KK社長

山口 泰弘／川崎電機製造KK副社長

直木 「まづ元町ですけれどね、昨年ロータリークラブの世界大会のときに外人客が沢山来ましたが、あんな時には外人は元町に行くんですね。道巾も広いしゆっくり青空を仰いで歩くという元町が好きなんだな。そうして町で外人同志の知り合いが通りで行きあうとお互いに手を挙げて挨拶を交わすんですよ。

そして楽しそうにショッピングをしているという風景が見られたんですが、これは神戸の元町通りでないと見受けられませんか。」

山口 「神戸の未来は文化商業都市が一番いいだろうというのが大体一致した考え方なんだな。ところが神戸を文化商業都市にするにはどうしたらいいかなければ、神戸の代表的なショッピングセンターとしての元町などの繁栄策をもっと真剣に考えなければいけないんだね。

私は昔の元町というものはあまり馴染はないんだけれども、『神戸の元町』というものは、大阪・京都でも他都市の人は皆んな『元町』というものを夢をもっているんだな、東京あたりでもわざわざ元町までショッピングにやって来るんですね靴などを、東京の一流のぜいたくな連中が買いに来てるんだよ。これはね元町だけでなく神戸全体に云えるんで神戸の街というのに対して他所の人は憧れを持っているんですね、ところが他都市からそんなに憧れを持たれている神戸の現状は

どうか、現実にはそんな憧れが満足させるにふさわしい都市じゃあないというので来た人はガッカリするんだナ。そういうことのないように、ほんとうに憧れがれの街にふさわしい神戸にならなくてはいいと思うな、文化設備などももっと完備させてね、そこは昔のように神戸だけよくなればいいという感覚でもないんで、関西というものの関連において繁栄策を考えて行くことが大切だよ」

直木 「憧れがれの街にふさわしい神戸として、こちらも態勢をつくらなくてはいいけないな、それに元町などは関西だけでなく日本の元町として世界に通用するんだからそんな意味でもやりがいもあると思うよ。だから商品もいいものを揃えて宣伝するようにしなければね」

山口 「最近、貿易の自由化で外国のシャレタ商品もどんどん陳列してやって行くことが出来るようになる訳だからね。それとね、必ず話に出ることなんだが神戸には中心になるセンターがないといわれていることなんだよ。そういう中心をかたちづくる意味もあるし、神戸に一番かけているものといわれている、公会堂という文化センターを創ってだね、神戸でいろいろな文化的な事業とか会合が開けるように文化の伸長をはからねばいいないというのは皆一様にもっていらっしやる意見ですな」

直木 「この間、経済同友会が出た話なんです、今まで郊外に多かったプロ野球の球場が最近では都心に作られるようになり、都心の球場はほとんど成功しているんですね。阪急の西宮球場もいまは駄目らしいので阪急は神戸電鉄と提携しているでしょう、だからそれを契機にして、阪急を一つ引張って来てね、いまのイーストキャップ跡あたりに、阪急のホームグラウンドにして神戸市民がこぞってこれを応援して神戸市民が心を一つにするというのに役立たせることが出来れば」という意見もいいアイディアだと思いますね」

山口 「それもいいことだね、どちらにしてもみんなの意見が結局神戸は文化商業都市にして行くことが神戸の使命として一番いいんだと考えていながら、どういうのかそういうのが神戸市民にまとまったムードがないでしょう、だから神戸全体にそういうムードが欲しいね。そういうムードを盛り上げ、つくって行くことが第一なんだから『神戸っ子』あたりにそんな工夫をしてもらってムードをこしらえてもらいたいものだね」

直木 「事実どんな都市に行っても公会堂はあるものね」

山口 「この間、倉敷に行つて見て驚ろいたよ、まああの倉敷は大原総一郎さんがいらつしやるんだが流石だと思つたな・立派な公会堂ですよ」

直木 「関西では京都あたりの文化施設が立派ですね」

山口 「京都にしても、倉敷にしても文化都市として恥じないだけの設備をもっていますよ。美術館あり公会堂ありでね神戸も文化都市という以上は是非欲しいナ」

直木 「ほんやりしているうちにね、神戸自体が非常に遅れていますね。それが神戸だけを見てみるとそんなに変わらないんだが、あちらこちら旅をして見ると、他所が非常に進んで来ているんですね、良くなって行つてゐるんですよ。神戸に帰つて見ると変らないで、汚くなり古びてきてゐるんですよ」

山口 「我々にして見れば、神戸は新しさのある明るい

洗練された街だと思つていましたしね。恐らく全国の人がそう感じていらつしやるに相違ないですよ。ところがね、うかうかすると逆に一番遅れた街になりかねませんよ」

直木 「嫌なことを言うようですがね、こんなことはやはり市が中心になってやらなくてはいけないんですね。市の政治力が問題になりますよ。神戸駅に地下をこしらえ、高速度鉄道を乗り入れることでもね。決定されるまでに市会でも十年以上も経っているでしょう。計画をたててから何んと三十年も経っているんですよ。こんな遅い行政がありますかね。こんな遅いテンポでほかのこともやっていたんではね。ほかのことも皆んな駄目になってしまうよ。一体こんなことは何処に原因があるのかと云う事が問題なんです」

山口 「驚ろきましたな。神戸の人は皆んな気が長いのかな（笑）私はどちらかと云うと気が短かいのが神戸っ子だと思つていたんだが……」

直木 「市民が気が長い訳はないですよ、然しね、市の当局にどうも経済的な感覚のある人があまりいないと云うんですね。なるほど福井市とか姫路市は市長が土建の業者でね、福井市などは度々不幸に見舞われる町なんです。下水道工事などでは完璧といつてよい程、良くなっているんだナ、姫路も良くなっているが今の市長さんも企業家ですからね。神戸市はそう云つた意味で、企業家的感覚がいまの市長さんや市の当局の人にかけているのではないかと思うんですね」

山口 「というのは、意欲があつても能力がないということになる」

直木 「そういつては何だが、感覚がづれているのだよ『夢のかけ橋』も結構ない事には違いないんだがね」

山口 「もつとね、手近に早急にやらなくてはならない問題が追つかけて来ていますよ。本当に当面の問題に早くとつ組んで行かなければならぬんじゃない」

直木 「またね、中突堤にマリントワーが出来ること





(写真は左より直木さん、山口さん)

になっていきますが。これも神戸港の中心をそこにおくという事で、いいことなんですがああ位置では交通の便を考えて見るとどうも感心できないね」

山口 「まあ、これもマリンタワーということですが、もうあちらこちらでタワーも建っているんだから、そんな真似をしなくてもいいのではないんですか。そんなことより直接早急な問題としての、道路とか、公会堂ですね。市民が本当にのぞんでいるものからやってもらいたいよ」

直木 「そうなんだもつとつり合いのとれたことを考え

なくてはね、昔、神戸の市民の気風というものは、非常に開放的で華やかだったんですね。そういう気風というのがあると、我々も錯覚しているんですよ。

現在の市民の気持というのは、保守的になって来ていますね。総べて何をやるにしても非常にテンポが遅いんだな、先程山口さんもいわれたようにね、ばらばらな感じがする、もつと神戸市民の心がまとまるような方向に進んで行かなければいけませんね」

山口 「かつて阪本知事から『神戸に財界がない』といわれたんですね。そうじゃあないんで財界はあるんだが纏りがないんだ、これはどうすればいいんだろうな」

直木 「名古屋の場合は戦前は非常に保守的だったんですが、戦後は非常に積極的になってほとんど、がめつい程、名古屋に金を持って来る人、名古屋のために人をどんどん迎ええたんですね。その点神戸はお高くまとまっているんでね」

山口 「名古屋は偉いねと思うね、初めは何でも地元主義でね極端に言えば排斥のところがあつたんだが、ある段階まで来ると、それではいかんと、門戸を開放して資本も人も名古屋に導入しなければ名古屋の発展はないということにちゃんと気づいて、それに気づくとすぐ決心してね」

直木 「すぐ実行してね、ほんとうにがめつい程なんです」

山口 「そんな、大転換をやつてのけるところに偉さがあると思いますよ」

直木 「神戸の人にはそんながめついところがないですね。なんとか神戸をもつと綺麗な、いい街にしたいですね」

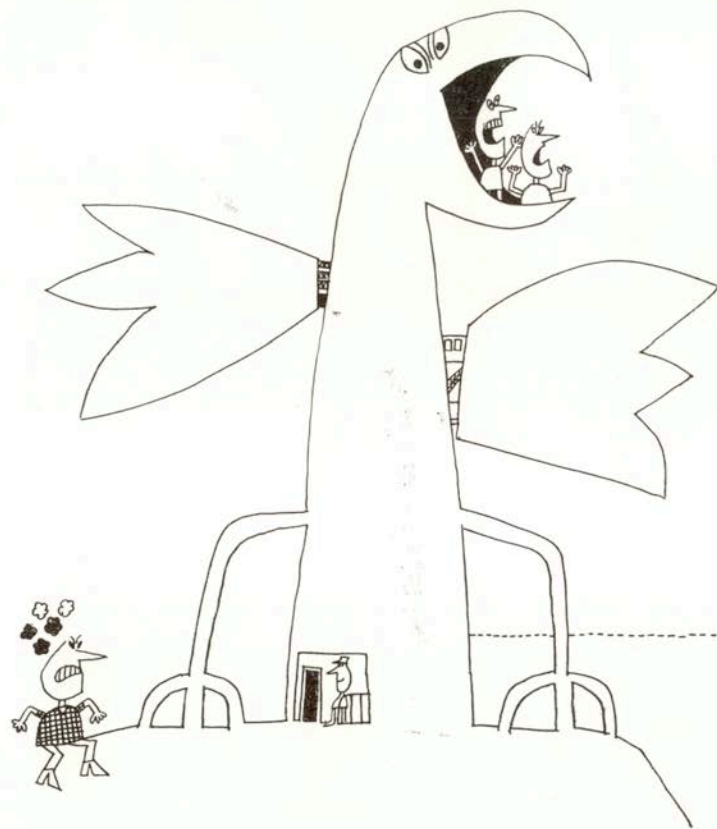
山口 「そう云うところを『神戸っ子』で大いに研究して見て下さいよ」

(文責・小泉康夫)



# 神戸だからえがく夢 No.9

文・藤 本 義 一  
え・佐々木 侃 司



たかいたかい市民税!!

イカリ鳥の塔、建つ!!

何をもたもたしてんのや……ハラ  
がたつ市民。コーベ・イカリの会  
発足。イカリ鳥の塔を建て、ハラ  
のたつ市民は塔の Teppen にあが  
ってわめくのだ!!

「公園をつくれっ」

「コーベを健康にしろ」

「マヤクを追い出せっ」

イカリ鳥の塔は有名になりました

市のおエラ方はこんどこそ、ホン  
トウに働かなければならないでし  
よう。



## 悲しい街になり果てるのか？

「離宮道」という名の停留所があるだけで、私たちにトーンと縁のなかった武庫離宮が市民に開放されるという記事を新聞で読んでから、もうずいぶんになる。西歐式の庭園がつくられるんだとか、デカい噴水がご自慢になるんだとかのことであった。しかしその工事がいつごろ、どんな具合にすめられるのか、これは市が払下げを受けてからのことだから、ヤキモキしてみてもはじまらない。

だがこうした未来図が一日も早く着工され、完成されるためにも私たちはおりにふれ、市の事業ぶを注目していよう。武庫離宮についてもう少しくわしく書きたいと思つて「あそこへは入れるのかしら」と友人に聞いたら、「いや、まだ全然ダメだ」という。

ついでこの間、市教委で八神戸の異人館Vという出版物が刊行されたそうだが、どういうところへ配られたのか、何の肩書きもない私たちはこの書籍をカネを出してでもほしいと思つても手に入らないようなシステムになっているらしいから、市民というだけの人間のあいだでは縁のないこと。税金をつかってどんな人のところへ、どれだけ配られたのか知りたいような気がする。八朝日ジャーナルVなど週刊誌、またあらゆる新聞から、異人館についての切り抜きはすべて完璧という私の手にさえ入らないテキストが、いったいだれほど熱心な研究者の手に渡っているのだろうか。タダでなくいいのだが、ぜひほしい資料すらわけ

ても貰えない。神戸市へ、私は市民税を8950円もおさめているのである。ああ、悲しいことよ（こんな上品な言葉で、このオレの気持がいいあらわせるものか。エーイ、クソツタレめ／ああ、これで胸がスツとした——）

ひきあいに出して恐縮だが、私がつとめている大阪のことについて、ある雑誌にちよつとした随筆を書いたら、しばらくして八大阪Vというりっぱな市政概鑑を贈っていただいた。これを参考にという心づくしがあるがたい。神戸では、古本屋へ手をまわして薄っぺらいテキストをやつと手に入れている。これが生れてこのかた住みついたわが愛するふるさと。イッヒッヒッヒ。

ところで県や市は、なんでも新しいものをつくったときはマスコミをつかって花々しく私たちへ知らせてくださるが、その反面、私たちの知らぬ間に消されていく愛着深い記念物がある。どこかでひっそり残されているのかも知れないが、そのゆくさきを教えていただきたいものだ。

まず第一に県庁前、三角地帯のとつばしにあった御影石の小りす2匹、2・13号まへの「神戸っ子」に、ここが大好きだと書いたら、「あいつが好きならつぶしてしまえ」といわれたんじゃないかと勘ぐりたくなるほど手廻しよく雑誌が出て2・13日目につぶしにかかり、アツというまにかき消えた。交通難のこのごろのこと、道路にするのはい向にかまわな

しかし、あのモニメントをいったいどこへやったのだ。これこれのところへ移したたと、私たちに知らせてさえもらえれば、少々遠くともたすねても行こう。だがつぶして、なくしてしまつたんだといわれれば、私は県民税だか市民税だかをささめるのがバカらしい。

市庁前の花時計わきに立っているトールポールは、昨年のみなと祭のとき、さらに大きいのがシートルから寄贈されたものであるとすれば、これまで立っていたのはどこへやったのか。なにも一本あればいいというものじゃない。アラスカあたりへ行つたら、ひとつの町に何十本と立っているのがある。その落ちつきさを市民に知らせるのも、市公報の仕事ではないか。できれば以前のトールポールが〔動物園なり、海浜公園なり、六甲か奥摩耶なり、ふさわしいところ〕に置かれることを願っている。

最後に、私が第2回（昨年12月号）に書いた八魔船をつなぐVアイデアは、その後、神戸商船大学が市民になじみ深い大帆船、進徳丸を市でホステルにしてもいいといふ申し入れたことで一挙に実現するかに見えたが、神戸の財界人が「ホステルじゃなしに、ホテルにするべきだ」といったために行き悩みの状態を見せている。これはぜひ、両者が歩み寄って、とにかく、今では世界的にも珍しい帆船を、ぜひ神戸の海辺にいつまでも残していただきたい。これすらもお流れになったら、私は気が違つてしまふかもしれない。全くほんのこのころ——。

（ともに寿屋宣伝部勤務）



## 私の好きなスター

「私の好きなスター達」

いソノテルヲ

特定の一人のスターについて語る記事なのかも知れないが、私には好きなスターが沢山いるので一人に限定できない。しかし、編集部

の五十嵐恭子さんから「女性のスターを選べ」と言う手紙を頂いたので、私の好きな女性スターを列記することにした。まことに八方美人的な原稿になりかねない。しかも紙数が制限されている。そこで、私の本来の仕事の一つである批評をあわせて書くことにした

好きなスターなればこそ、こうあって欲しいと言う希望があるわけだ。ここに選んだスター達は、私が好きだと言うだけでなく、好きな人が沢山いる女性である。

前置きはこの位にして本題に取りかかることにしよう。

江利チエミ 文句なしの大スター。特に彼女の素晴らしいことは第一にジャズ・ヴォーカルに新境地を開きつつある事。第二にダーリンとむつまじく楽しい家庭を持

っている事である。

彼女と神戸へ数回来ているが、当地の方からチエミ一家と同じローレックスの腕時計を安くゆづって頂いたのが思い出される。キングの「テネシー」からさのさまで「と言う歌手生活十周年記念アルバムはチエミの今までの数々のヒットの集大成として音楽ファンには非聞いて頂きたいレコード。

彼女と旅行していて、あまりダーリンと仲良くするのを見て、私もついに独身クラブ脱退を決定した。もち論、チエミに第一に報告するつもりである。

沢たまき 若手の歌手の中では最も将来性のあるミュージカル・タレント。

六月21、22、23日の三日間神戸国際会館に一緒に来ていた。彼女に望むことは一に勉強、二に勉強。素質豊かなれば勉強すべし。

この人も昨年ビリイ吉田君と結婚ホヤホヤである。

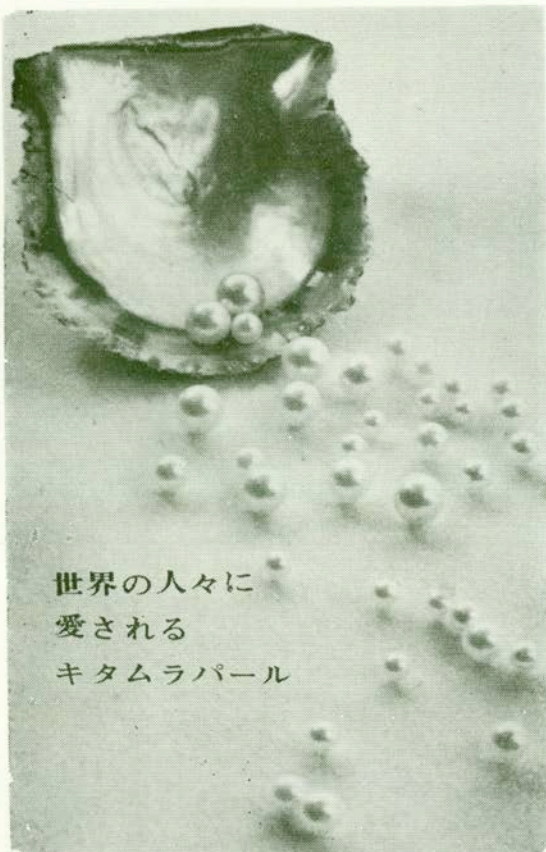
青山京子 映画、テレビの美しいスターとして活躍する彼女は、東宝のニューフェイス時代からのファンで、黒沢明の「生きる」など立派なものだった。

自由ヶ丘のジャズのレコードのかかる喫茶店で会ったら「チエット・ペイカーの唄にしばらく」となかなかジャズに興味を持っていくようだったので、私のラジオ番組にゲストとして出て頂いた。演技派としての成長を期待したい。

その他、水谷良重、小割まさ江、星野美代子、後藤芳子、小野道子、夏川かほる、園さゆり、丸山清子、沢村美司子、ザ・ピーナッツ、中原美沙緒、雪村いづみ、坂本スミ子、ベギー葉山、エセル中田、なかほる、万里昌代、中田康子、岡田茉莉子、有吉佐和子など好きである。

(ジャズ評論家)





世界の人々に  
愛される  
キタムラパール



# 北村パール

北村眞珠株式會社

神戸／元町2・東京／スキヤ橋センター  
TEL ③ 0072 (571) 8032

## フランス菓子 ドンク



本	店・センター街	TEL.③1750
サンドウィッチパーラー・本店向側	TEL.③5974	
芦屋	店・国電北駅前通	TEL.②5137
山手	店・中山手二丁目	TEL.②1491
そごう	店・神戸そごう地階菓子売場	
丸	店・神戸大丸地階菓子売場	
阪	店・大阪梅田コマ劇場横	
路	店・山陽百貨店地階食料品売場	



Fashion

VIENNALINE

世界のめがねがやって来た

**神戸眼鏡院**

元町3・電③3112-3・0551(貿易部)



夏のレジャーに  
Water Proof

時計は **美 田**

MOTOMACHI-3  
TEL (3) 1798

## 花時計

コクトーの  
遺言

松井高男



コクトーの「オルフェの遺言」が近く神戸でも上映されたが、久しぶりに楽しい映画である。「コクトーの潜在意識が燃やす狐火を追っかけるのはくたびれる、精神分裂者のたわごとだ」といつてのけたアメリカの批評家の言葉は、一応痛快なようだが、近代的合理主義一本で割り切るにはたいへんもったいない作品である。コクトーは、そうした狐火を楽しむことを知らぬ人たちのためにナゾ解きのカギをすっかりそろえてくれる映画のなかのミネルバとの対話がそれだ。非現実に現実の外観を与える映画というもののカラクリを存分に楽しみながら、コクトーは

詩を語り、詩人を語り、自らを語ってみせる。したがってこれは「コクトーの遺言」である。その意味できわめて非論理的なエピソードの積み重ねのうえに、きわめて論理的な作品が出来上がった。そうした作品をつらぬくたくましい「詩人の精神」が、コクトーのナルシズムに向けたこちらのほこ先をにぶらせもする。思えばこうして思うままに遊べる詩人がおり、遊ばせることのできる国はしあわせだ。せちがらい国には、反抗と創造の精神を忘れたせちがらくみみっちい詩人しか棲息しえないのかも知れぬ。

## レリーフ

尾上菊見さん



神戸の女流舞踊家・尾上菊見さんが、第八回「名流さつき会」に初出演して成功をみせ、邦舞界の話題をさらったのは、ことしの二月のことであった。

「名流さつき会」というのは、毎年、大阪新歌舞伎座でひらかれる舞踊大会の名称だが、この催しは「名流」とうたっているのとおり、東西名家が（邦楽もふくめて）一堂に会して妍を競うという、いわば邦舞の振興発展のトップをゆく企画として定評あるもの。

まだうら若い菊見さんが、この格式ある舞台に登場できたのは、家元・尾上菊之丞師に、その実力と才能を認められてのことではあったが、率直にいうと、実際の舞台をみるまでは「どうなることか」

というような、不安のほうが強かった。しかも出し物は宮園節の「鳥辺山」で、家元の（縫之助）と競演する（浮橋）という至難な遊女の役であった。

しかし幕が上がり、やがて幕がおきて一新歌舞伎座の会場に、われるような拍手をきいたとき、わたしは地元神戸に、こうしたヒノキの舞台にたちむかう新進舞踊家の出現したことを、はっきりと知らされた。

その後、五月にひらいた神戸国際会館でのリサイタルでも、創作に古典舞踊に、めざましい活躍がみられたのは頼もしいかぎりである。

（神戸新聞社・佐藤記者）



# 一店紹介

## 国際コンタクト

## レンズ研究所

## 国際会館1階



### コンタクトレンズの知識

1801年頃に初めてコンタクトレンズの概念が起つて戦後プラスチックの製造科学が急激に進歩して、このコンタクトレンズが実用化され始めた訳で現在では99%がアクリル樹脂で製造されていて屈折率が高く、透明度のいいレンズが完成されたものです。

美しく自然の容貌のままです

現在では映画スター、スポーツ選手などに愛用され、お馴染みのロナルド・リーガン、デボラ・カー、スポーツ選手ではリチャード・コナリー、巨人の中村稔投手なども愛用者です。コンタクトレンズは、あなたの美しい容貌をそのままに生かして呉れる訳です。またどんな激しい運動でも邪魔になりませんし、危険性もなく、絶対レンズが曇らないのです。また弱視の方で従来のメガネでは救えなかった、強度乱視・高度近視、円錐角膜というような症状の方でも、立派によく見えるようになり、コンタクトレンズのよりすぐれた性能が充分に発揮されます。

費用はこんな程度です。

一応全国協定価額があり、両眼8000円、装用技術・診療代を含めると9200円程ですみます

大切なのは、眼の角膜のカリブにレンズがよく合うことです。それにはレンズの製作を自由に出来る店、装用の方法の指導が完全に出来る店を選ぶことが大切です。

国際コンタクトはそんな条件を完全に満してくれるアフターサービスが行届いた店でもあります。

神戸国際会館の北側にある国際コンタクトレンズ研究所は弱視の人のためのお店でもあるし、この店は向山眼科ともいいます。神戸済済会病院で眼科医長をされていた、医学博士の向山昌信さんが開かれていたので、向山さんは眼科の専門医で、国際コンタクトレンズ研究所の経営もされているブレイニングマネージャーなのです。向山さんは「近代科学の粋をあつめて誕生したコンタクトレンズはいま大変人気をあつめています」「コンタクトレンズを装用する場合は医師に限られる」ということが医療法で定められているので、私のようにブレイニングマネージャーが必要な訳なのです。

ところが本来弱視の人を医療によって救うはずのところが、案外女性の美容を保つために装用される人が多くなって75%から80%までが女性のお客さまで、美しい女性に毎日取まかれてるんですよ」と微笑された。

「よくアメリカの水兵さんも来ていらっしやいますね」

「あれは、アメリカ第七艦隊の連中で、初めて装用した水兵の同僚達が艦が入港する度にやって来るんですね。水兵さんなどには都合がいいでしょうね。それにアメリカでは200円もかかるんです。

何分、眼鏡と違って、眼にものを入れると痛いだろうと思われ方が多いんですが、そこは科学的に充分処理されているので大丈夫です。皆さん「思ったよりずっと楽ですね」と仰言いますよ」と説明して下さいました。



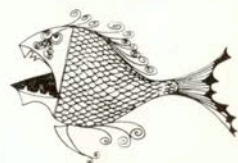


# LEISURE SEASON

暑さをふき飛ばして  
若ものたちは  
青い山で  
八月の太陽をうたい  
波に飛沫をあげて  
たわむれる  
**K O B E**の夏は  
夢があふれる  
たのしい季節







SUMMER  
SHOPPING

夏の楽しい  
おしゃれ  
さわやかさ  
美しさを  
たのしく  
おくる店  
夏の装い  
お中元の贈物は  
このハイセンス  
の店で  
おえらび  
ください

写真は左より、男子物のレ  
チャウウェア(フナキヤ)  
ソニーテレビ(元町電機)デ  
イズニーマンガのカヌー浮  
袋(キヨシマ屋)サマーバ  
ッグ(イクシマヤ)花模様  
の水着(エスターニースト  
ン)ストライプの夏布地(ハ  
トリー洋装店)舶来のシ  
ヤツ(サカエ)ビニールの  
ボール(キヨシマ屋)





創作ハンドバッグ

アクセサリーとエッセ

**イクジマヤ**

元町一 (3) 二四二五〇六

紳士洋品の店

**サカエ**

元町二 (3) 五一二二

花衣に夢をのせて

**トリ洋装店**

新聞会館1階221八

男子洋品の店

**フナキヤ**

元町三 (3) 三六二七

あらゆる電器製品の店

**元町電機**

元町六 (4) 三〇〇五

輸入婦人服地雑貨の店

**エスター**

**ニユートン**

トア・ロード (3) 一八八

楽しい  
オモチャの店

**キヨシマ屋**

元町二  
三町二  
四丁目  
九目